

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	17	課題区分	C	令和8年(2026年)2月25日
横断的な課題	地域資源や特性を活かし地域を支える産業振興					南信州地域振興局
地域重点政策	地域資源や特性を活かし地域を支える産業振興					
実施機関	南信州地域振興局			担当課	所属	農業農村支援センター等
事業名	～日本なし産地再生プロジェクト活動～ 「日本なしを使用した菓子等商品化プロジェクト」の取組				電話	8-237-2481
					E-mail	minami-nosei@pref.nagano.lg.jp
事業の概要	目的 (目指す姿)	産地再生に取組む日本なしを活用したお菓子やスイーツなどで地域の新たな商品化を図り、加工商品を通じて地域特産果樹である日本なしの魅力を消費者に発信し地域で共有する。				
	現状と課題	当地域は古くから県下有数の日本なし産地だったが、H29からR3にかけて生産量は23%減の7,421tで、R8には4割減の4,324tと推計される。一方、販売単価については、JAみなみ信州の販売単価でみると、令和元年の377円/kgから令和5年490円/kgと5年間で113円/kg上昇している。このことから、果樹農家の所得向上には重要な品目になると考えられる。 令和4年6月に生産者、農協、行政機関等が一体となったプロジェクトを設立し、日本なしの産地再生を目指す取組を始めた。販売価格の安定とプロジェクト活動により、日本なし栽培への注目が高まり果樹農家の後継者や市町村の就農制度研修生や地域おこし協力隊員など新たになし栽培に取り組む者が増加している。 プロジェクトでは、「人材確保」、「栽培技術」、「品種育成」、「販売戦略」の4つの課題解決に取り組んでおり、そのうち「販売戦略」については、地域住民へ効果的に本プロジェクトを情報発信し、生産者及び農業関係団体、行政機関だけではなく、消費者の立場で地域住民にも産地を応援してもらうことが産地継続に向けて課題となっていたことから、プロジェクトの一つとして日本なし商品キャンペーンを実施し、製菓業者や飲食店とともに商品化等に取り組んできた。令和4年度に生菓子組合等へ協力を呼びかけ、趣旨に賛同いただいた店舗に試作してもらい報道機関へのお披露目を開催した。令和5年度から商品販売キャンペーンを開催し、本格的に販売を開始した。令和6年度は参加店舗での商品販売の他に飯田短期大学学生、下伊那農業高等学校の生徒と参加店舗がコラボ商品開発と販売を行った。毎年、メディアに取り上げられていることやマップやポスター、のぼり旗といったPR素材の効果もあり、商品は概ね好評で販売されており、また、南信州地域がなしの産地であることを広く情報発信できる機会となっており、この取り組みを継続していくことが重要となっている。				
	内容 (変更後の内容)	【販売戦略:なし商品化企画】 マップの印刷製本とキャンペーンを周知するポスターを作成し、8月から10月の日本なしの収穫時期にあわせて実施する商品キャンペーンを地域住民等に広く情報発信し、生産者及び地域住民の産地一体感を醸成した。 1 企画 南信州地域の製菓業等の業界関係者とタイアップし、当地域の日本なしを活用した商品化を図り、商品を通じて南信州の日本なしの魅力を消費者に情報発信した。 日本なしの収穫時期に合わせて商品が食べられるキャンペーンを実施し日本なし生産者、地域住民等の産地一体感を醸成した。 2 期間 9月1日～10月15日 3 内容 期間内、参加店舗は統一ののぼり旗とポスターを掲示し、また、マップは参加店舗の他、市町村、観光案内所等へマップ、ポスターを設置し幅広く情報発信を行った。 4 参加者 協力店舗 9店 商品数11点 5 スケジュール (1) 4月～5月 参加店舗を募る (2) 6月～7月 参加店舗決定と商品開発とマップ掲載用商品の撮影 マップ、ポスター等PR商材の配布 (3) 8月下旬 商品発表会 (4) 9月1日～10月15日 商品販売キャンペーン (5) 南信農業試験場一般公開にて、一部商品の販売(9月13日)				
事業期間	令和7年9月 ～ 令和7年10月					
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画額	備考		
	日本なし商品PRキャンペーン	菓子店と商品掲載マップ製作	97,900	A3・両面4色・コート90kg・四つ折り 1,500部 60円/枚		
	日本なし商品PRキャンペーン	ポスター製作	91,300	A2、片面4色、コート135kg、 カラー刷り 100枚 830円/枚		
	合計	189,200				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況	
	メディア報道数 新聞、ラジオ、テレビ		6社	3社	未達成	
事業実績・成果	・令和7年9月1日～10月15日に、飯田市、高森町、豊丘村の菓子等店舗9店の協力を得て実施した。 ・昨年に引き続き参加店舗から日本なしを使った菓子等商品の販売を行った。うち、1店舗では新しい商品を開発・販売いただいた。 ・キャンペーン開始直前には、テレビ局や新聞社から今年もキャンペーンを実施するか問い合わせがあり、南信州地域のイベントとして認知・定着してきている。 ・南信農業試験場一般公開にてプロジェクトの紹介及び一部商品の販売を行った際、来場者から「毎年マップを手にも、参加店舗をまわってお菓子を購入するのが楽しみ」、「南信州地域外から訪れたが、帰りに参加店舗へ寄ろうと思う」等の声が聞かれた。 ・以上のことから、当活動が「南信州地域のくだものといえば日本なし」という消費者意識の醸成につながっていると考察する。 ・プロジェクト本体の達成指標:①新植・改植面積R7目標10.4ha、実績11.8ha②早期収穫省力栽培技術導入面積R7目標8ha、実績10.7ha。					
今後の方向性	・当プロジェクト期間は令和9年3月までであるが、プロジェクト終了後も日本なしの魅力を発信・共有するため地域の行事として継続していく。 ・参加店舗が飯田市、高森町、豊丘村にとどまっているため、その他の町村においても参加店舗を募り範囲の拡大を図る。					